

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

児童青少年課

補助金等の名称	佐倉市青少年健全育成関係団体事業交付金(佐倉市青少年育成市民会議)						
予算科目	一般会計 款 3 項 3 目 7						
予算事業名	青少年活動団体支援事業						
実施計画の位置づけ	青少年育成団体の支援や青少年活動の担い手を育成します。						
補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接 国県補助なし					千円	
交付先	佐倉市青少年育成市民会議						
支出根拠規定	佐倉市青少年健全育成関係団体事業交付金交付要綱						
補助の目的	青少年の健全育成を目的とする団体等が行う活動等を支援することにより、団体等の活性化を図るとともに、青少年の健全育成を促進する。						
補助の効果	・地域における青少年育成団体の維持発展が期待できる。 ・青少年の健全育成を図ることができる。						
補助対象事業の 具体的内容	①青少年健全育成活動の普及、向上又は奨励のための援助又は助言に係る事業 ②団体間の連絡調整に係る事業 ③スポーツ又はレクリエーションに関する催しの開催又はこれへの参加に関する事業 ④社会環境浄化促進活動に関する事業 ⑤青少年健全育成団体の関係者の研修及び講習に関する事業						
対象経費及び補助率	青少年健全育成活動に要する経費(但し、予算の範囲内)						
補助金額の根拠	本交付金の対象となる所要経費						
備考 1/2を超えて補助、設 立5年を超えて運営費 補助する理由 その他	少年非行を防止するため、国の呼びかけにより、全国の都道府県・市町村に、青少年育成 会議が設立され、佐倉市でも、市の働きにより、昭和57年に佐倉市青少年育成市民会議が 設立され、市内7つの地域で、各地区青少年育成住民会議が、子どもたちの非行防止や子 どもたちを犯罪被害から守るためのパトロール活動、地域交流まつりなどを展開し、地域 の中で、子どもたちの健やかな育ちを応援しています。 このように、市の働きにより設立された団体であり、その活動も青少年の健全育成に大きく 寄与していることから、補助は必要と認められます。						
補助期間	平成27年 4月 1日～令和2年 3月31日						

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	児童青少年課		
補助金等の名称		佐倉市青少年健全育成関係団体事業交付金(佐倉市青少年育成市民会議)			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	1,650	【目標値】 1.環境浄化活動 パトロール 回数 60回 2.地区別の軽スポーツ大会等 7事業以上開催	1,650	・環境浄化活動 パトロール 回数 48回 ・地区別の軽スポーツ大会等 12事業	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	パトロールについては、雨天中止等の影響で目標値を下回った。 各地区住民会議主催の軽スポーツ大会や地域交流まつり等が開催され、目標値を上回った。 今後もパトロールや軽スポーツ大会等の事業を展開し、青少年の健全育成に努めていく。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	1,650	【目標値】 1.環境浄化活動 パトロール 回数 60回 2.地区別の軽スポーツ大会等 7事業以上開催	1,650	・環境浄化活動 パトロール 回数 48回 ・地区別の軽スポーツ大会等 12事業	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	1,650	【目標値】 1.環境浄化活動 パトロール 回数 60回 2.地区別の軽スポーツ大会等 7事業以上開催	1,650	・環境浄化活動 パトロール 回数 50回 ・地区別の軽スポーツ大会等 12事業	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	1,650	【目標値】 1.環境浄化活動 パトロール 回数 60回 2.地区別の軽スポーツ大会等 7事業以上開催	1,618	・環境浄化活動 パトロール 回数 50回 ・地区別の軽スポーツ大会等 12事業	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	1,650	【目標値】 1.環境浄化活動 パトロール 回数 60回 2.地区別の軽スポーツ大会等 7事業以上開催	1,649	・環境浄化活動 パトロール 回数 52回 ・地区別の軽スポーツ大会等 18事業	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	秋の風水害や新型コロナウイルスの影響を受け予定したおりの活動が難しい中、パトロールは目標 には及ばないものの前年度の回数を上回り、軽スポーツ等事業も目標を上回る回数を実施することが できた。				
計画期間終了後の 最終的な目標値	年間のパトロール回数の目標を60回とし、地区別の軽スポーツ大会等の事業を7事業以上 開催する。				
計画期間終了後の 最終的な成果値	計画期間(5年間)の年間パトロール回数の平均は49.6回となり、地区別の軽スポーツ大会 等の事業開催数の平均は13.2事業となった。				